

白髪対策「色素幹細胞の減少が要因」

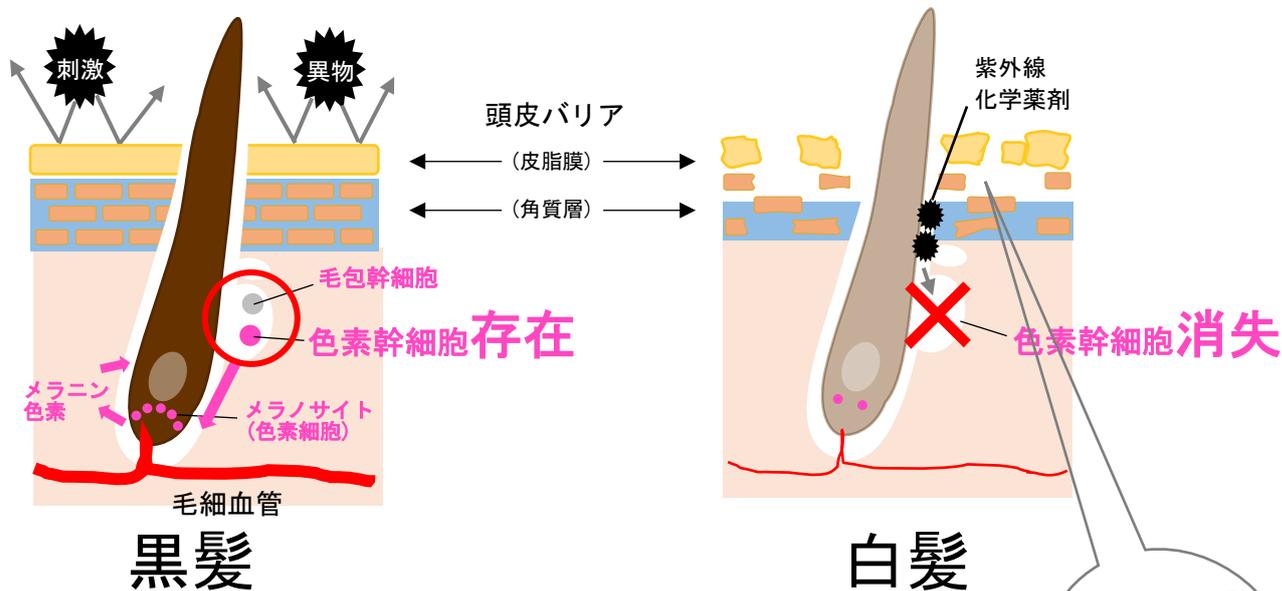
白髪の原因は、髪の毛の色を作る細胞「色素幹細胞」の減少。色素幹細胞は一度なくなると元に戻らないため、ヘアケアでは色素幹細胞を減らさない頭皮環境作りがポイントです。海の森化粧品は、壊れた頭皮バリアを修復するバリアケアで、色素幹細胞の維持をサポートします。

髪の毛の色を作る「色素幹細胞」

本来髪の毛そのものは無色で、毛球内の色素細胞が産生するメラニン色素によって有色となります。この色素細胞を作り出しているのが色素幹細胞。色素幹細胞は、髪の毛を作る細胞「毛包幹細胞」と一緒に毛包内のバルジ領域に存在しています。白髪は、この色素幹細胞が減少しメラニン色素が作られなくなることで発生します。色素幹細胞が減少する要因は加齢。加齢による減少を止めることはできませんが、減少を加速させる要因にシャンプーの継続使用があります。白髪を少しでも増やさないためには、シャンプーの使用量・回数を減らす+シャンプー後の頭皮バリアケアで、色素幹細胞が減少しにくい頭皮環境を作ることがポイントです。

シャンプーが色素幹細胞の減少を加速させる

頭皮には、頭皮バリア(皮脂膜・角質層)といって空気の乾燥・紫外線、菌増殖、シャンプーなど様々な刺激や異物によるダメージから色素幹細胞を守るバリアがあります。シャンプーすると、皮脂・汗などの汚れが落ちて清潔になりますが、配合の合成界面活性剤が汚れと一緒に頭皮バリアに必要な皮脂やセラミドといった油分も取ってしまいます。通常頭皮バリアは壊れても、頭皮自らの力(皮脂・汗分泌、ターンオーバー)で修復できるようになっていますが、シャンプーの継続使用で頭皮バリアを壊し続けると、やがて頭皮力が低下し常に頭皮バリアが壊れた状態となります。すると、紫外線やシャンプーに配合の化学薬剤といった異物が毛包内に侵入し、色素幹細胞が炎症ダメージを受けることで白髪の増加につながりやすくなります。



シャンプー後の頭皮バリアケア

アミノ酸系シャンプーなど頭皮や髪の毛に優しいといわれるシャンプーであっても、合成界面活性剤に変わりありません。そのため、シャンプー後はどうしても頭皮バリアが壊れているため、白髪を少しでも増やさないためには、シャンプー後のバリアケアがポイントです。森海混に含有のリノール酸が頭皮バリアを修復し、合成界面活性剤やアルコール不使用でバリアを壊さずにケアします。徐々に自分の力で頭皮バリアを丈夫にしていくため、少しでも白髪が増えないようにサポートします。同時に、お湯洗髪取入れやシャンプーを減らして、頭皮バリアを壊さないことも重要です。頭皮乾燥、フケ・痒み、炎症、薄毛・細毛、ハリコシ不足、パサツキなど、多くの頭皮・毛髪トラブルも頭皮バリアが壊れることから始まります。頭皮バリアを丈夫にすることでこれらのトラブル対策にもつながります。